

《課題名》S 状結腸捻転症例の検討

《研究対象者》

2011 年 1 月～2017 年 12 月までに当院で S 状結腸捻転症に対して加療を受けた患者

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

研究課題名：S 状結腸捻転症例の検討

研究期間：承認日（2018 年 6 月 29 日）～2019 年 12 月

研究責任者：滋賀医科大学 《所属》外科学講座 《氏名》谷 眞至

分担研究者：《外科学講座》清水智治、園田寛道、三宅 亨、植木智之、全 有美

（2）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

S 状結腸捻転症は、高齢者や精神疾患を有する患者に好発するとされ、高齢化社会において患者の増加が懸念される、腹部救急疾患の一つです。再発を繰り返す場合は手術適応とされていますが、詳細な治療方針については一定の見解が得られていません。そこで今回、S 状結腸捻転症例を検討することで、手術適応を裏付ける指標の一助となることを目的とします。

（3）研究の方法について

《研究の方法》

当院の電子カルテより、前述の研究対象者を全例抽出し登録します。

抽出する項目は、年齢、性別、BMI、PS、既往歴、捻転の回数、併存疾患、開腹歴、内服薬、診断前血液検査（CBC、WBC、CRP、LDH、HbA1c）、CT 所見、腹部 Xp 所見、治療方法、保存的治療以外の治療までの時間、術中出血量、手術時間、術後合併症、病理検査結果、術後成績等です。

（4）個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を特定できる情報に関しては、個人を特定できないように関わりのない記述等に置き換えて使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

（6）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。停止を求められる場合には、（2018年10月31日までに）下記（8）にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 《窓口所属》外科学講座 《対応者氏名》谷 眞至

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2238

メールアドレス：《窓口メールアドレス》mtani@belle.shiga-med.ac.jp